



2014年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2014年 11月 6日

日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2014年度 第2四半期決算
2. 2014年度 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗
 - (1) 新規海外拠点の現状
 - (2) 環境・安全・エネルギー分野の製品

目次

1. 2014年度 第2四半期決算

2. 2014年度 連結業績予想

3. 中期経営計画の進捗

(1) 新規海外拠点の現状

(2) 環境・安全・エネルギー分野の製品

第2四半期決算 — 前年同期比



(億円)

	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	増減
売上高	2,028	1,939	+89 (+4.6%)
営業利益	80	51	+29 (+55.3%)
経常利益	82	41	+41 (+100.1%)
当期純利益	58	17	+41 (+248.5%)

セグメント情報 — 前年同期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	差異	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、 地金	543	513	+30 (+5.8%)	32	21	+11 (+53.1%)
板、押出製品	382	338	+44 (+13.2%)	15	11	+4 (+41.1%)
加工製品、 関連事業	643	628	+15 (+2.5%)	31	26	+5 (+18.6%)
箔、粉末製品	460	460	0 (0.0%)	15	8	+7 (+87.5%)
管理・共通	—	—	—	△13	△15	+2
合計	2,028	1,939	+89 (+4.6%)	80	51	+29 (+56.9%)

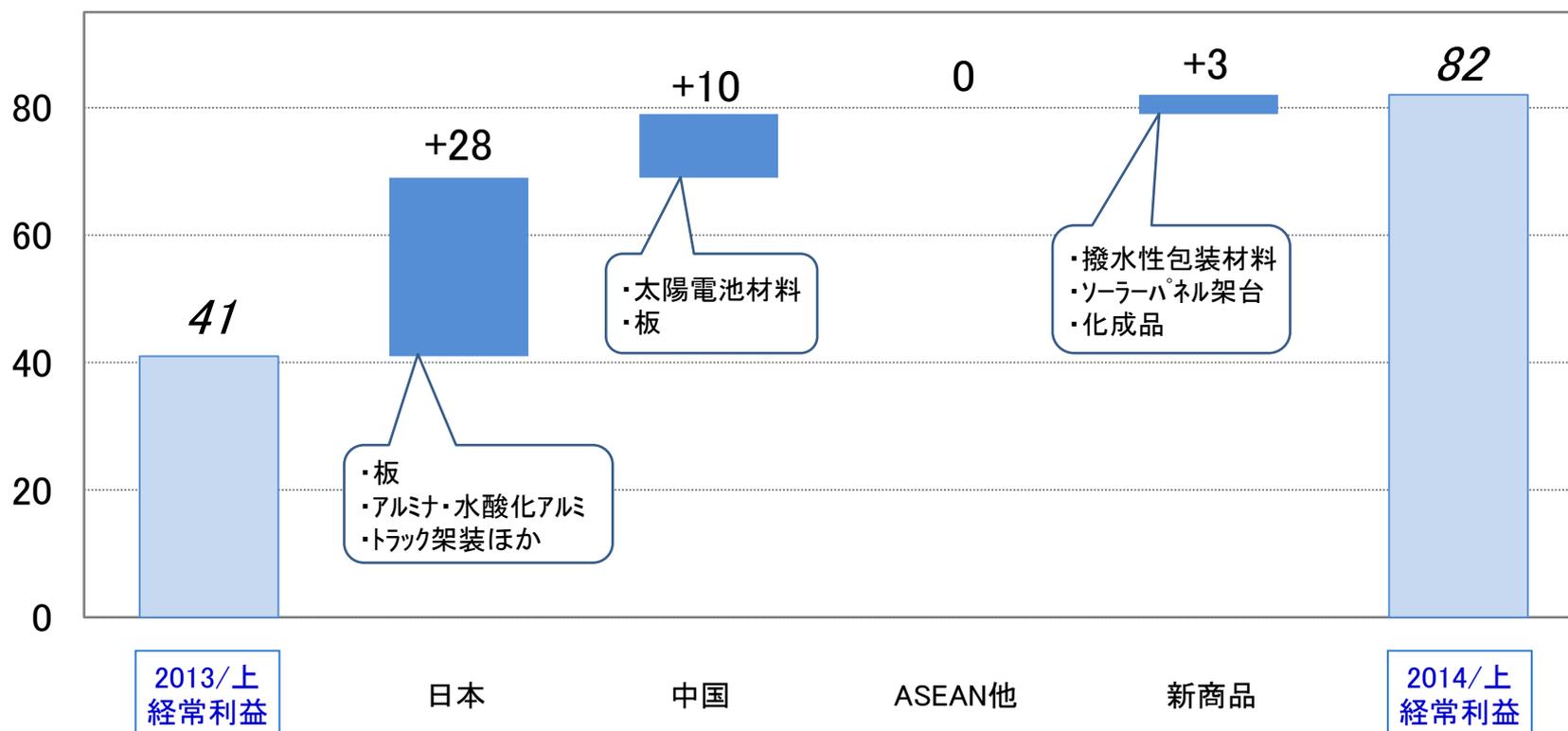
経常利益変化要因 — 前年同期比



2013年度 第2四半期 +41億円

⇒ 2014年度 第2四半期 +82億円 41億円増加

(億円)



主要会社の業績 — 前年同期比



(億円)

	2014年度第2四半期			2013年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	653	8	30	593	△13	2
東洋アルミニウム (連結)	463	14	15	463	9	8
日軽エムシーアルミ (連結)	272	6	5	264	8	7
日本フルハーフ (連結)	273	12	12	258	9	9
日軽金アクト	188	9	9	170	7	7

目次

1. 2014年度 第2四半期決算
2. 2014年度 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗
 - (1) 新規海外拠点の現状
 - (2) 環境・安全・エネルギー分野の製品

通期業績予想 — 前期比



(億円)

	2014年度 予想 (10/30)	2013年度 実績	増減
売上高	4,150	4,028	+122 (+3.0%)
営業利益	170	126	+44 (+34.7%)
経常利益	160	127	+33 (+25.7%)
当期純利益	110	51	+59 (+114.5%)
有利子負債	1,830	1,987	△157
ネットD/Eレシオ	1.3倍	1.4倍	—
R O C E	6.4%	5.8%	+0.6p

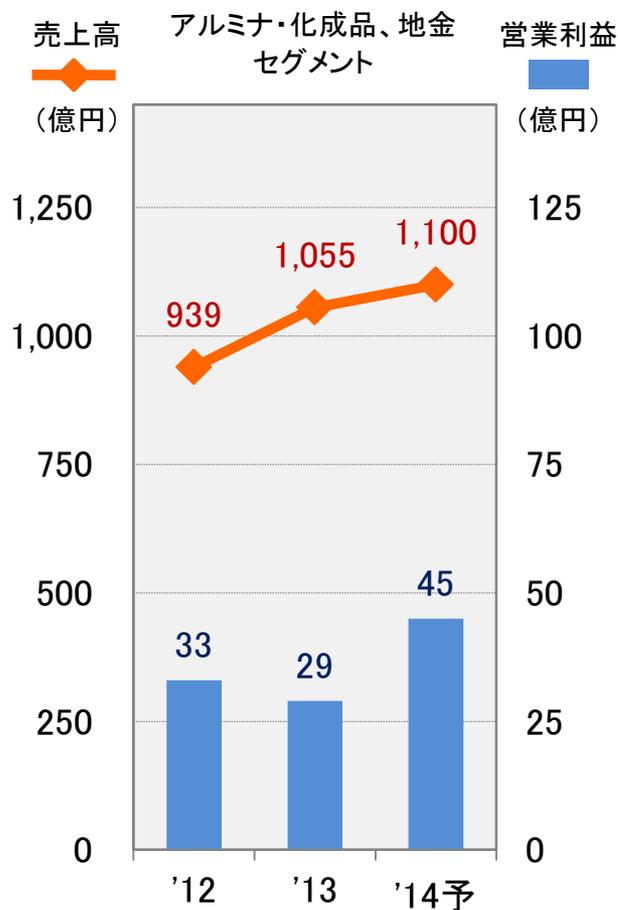
セグメント情報 — 前期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年度 予想 (10/30)	2013年度 実績	増減	2014年度 予想 (10/30)	2013年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,100	1,055	+45 (+4.3%)	45	29	+16 (+54.3%)
板、押出製品	770	713	+57 (+8.0%)	35	27	+8 (+31.2%)
加工製品、 関連事業	1,350	1,322	+28 (+2.1%)	80	72	+8 (+10.7%)
箔、粉末製品	930	938	△8 (△0.9%)	40	29	+11 (+38.5%)
管理・共通	—	—	—	△30	△31	+1
合 計	4,150	4,028	+122 (+3.0%)	170	126	+44 (+34.7%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

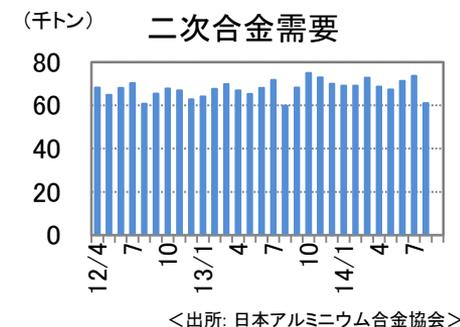
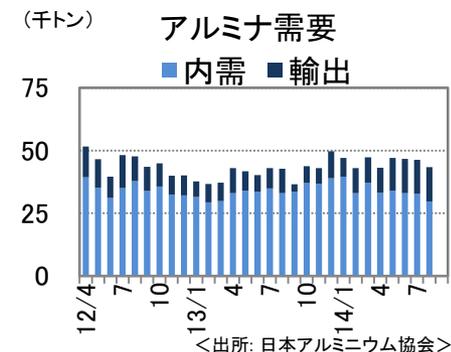
- アルミナ関連では、凝集剤、耐火材、電子材料向けが増加
- 高付加価値品増販、価格改定、コストダウンなどにより収益改善

日軽エムシーアルミ

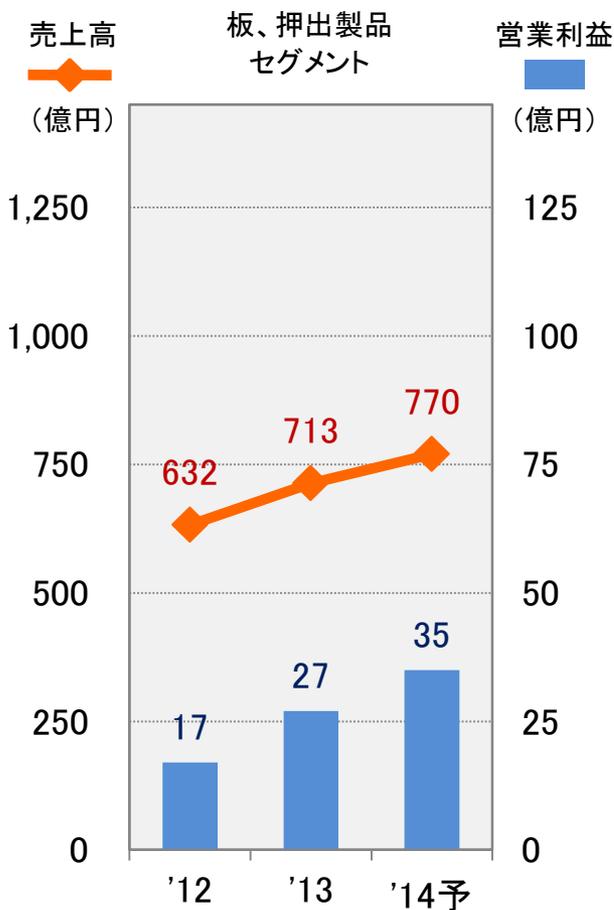
- 国内販売は消費税増税の影響は軽微ながらも減少
- 中国を中心に、海外市場は堅調な推移を見込む
- インド、メキシコも順調に立ち上げ

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	67.9	69.6	△2%	68.7	70.4	△2%	136.6	140.0	△2%
海外	52.8	49.9	+6%	56.2	51.6	+9%	109.0	101.5	+7%
合計	120.7	119.5	+1%	124.9	122.0	+2%	245.6	241.5	+2%



板、押出製品



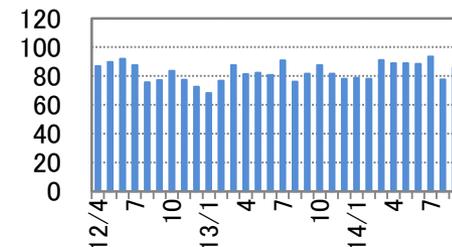
板

- 半導体・液晶装置向け厚板、電機・電子、輸送などで増加
- 加工費値上げを実施(15年1月から)
- 日本・中国・タイの3極体制スタート

板事業部販売量 (千トン)

	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		40.6	36.0	+13%	39.2	41.1	△5%	79.8	77.1

(千トン) 板製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

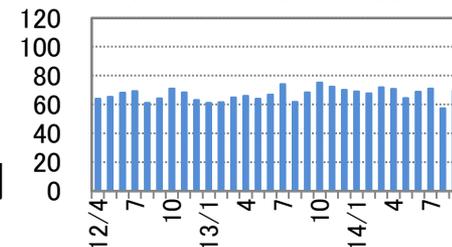
日軽金アクト

- 輸送関連ではトラック向けが好調
- 加工費値上げを実施(15年1月から)
- 中国の自動車・鉄道部品加工が好調

日軽金アクト販売量 (千トン)

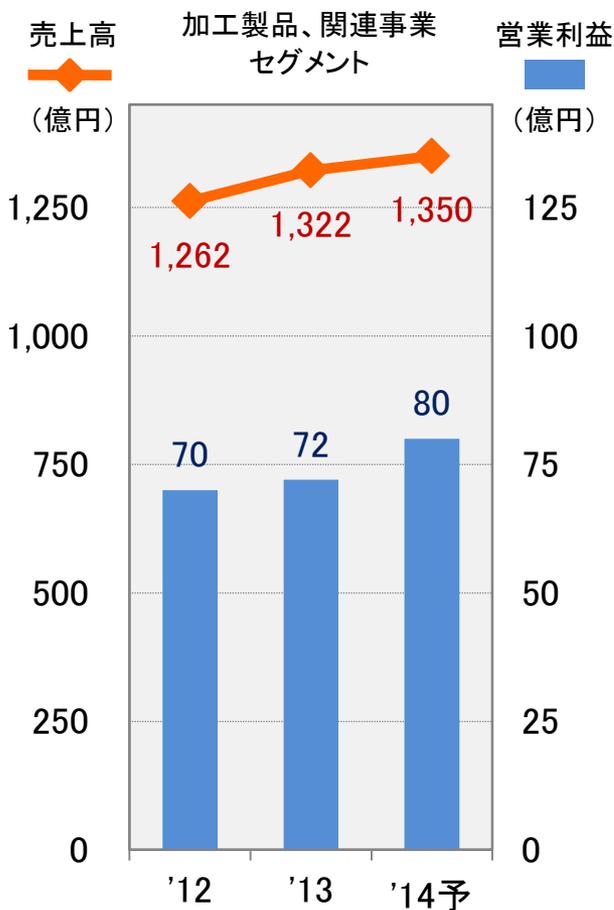
	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		19.8	19.0	+4%	21.1	20.3	+4%	40.9	39.3

(千トン) 押出製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

加工製品、関連事業



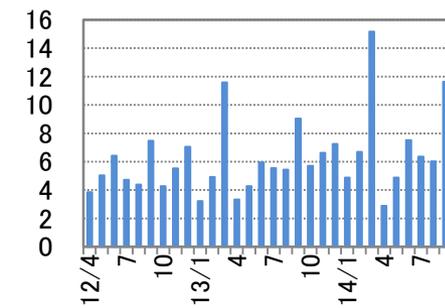
日本フルハーフ

- トラック需要は好調が続く
 - ・ 景気回復
 - ・ 03年からの排ガス規制時購入車両の買換需要
- アフターサービス事業拡大
- 中国でのトレーラー拡販
- 14年7月、タイで架装事業をスタート

日軽パネルシステム

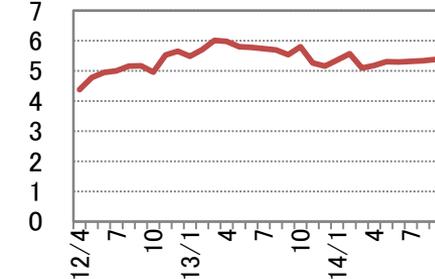
- 冷凍・冷蔵分野の好調が続く
(コンビニ・スーパー、食品工場、低温流通設備向け断熱パネル)
- 新製品や耐震事業などの新事業の拡充強化を図る
- タイ工場のノンフロンパネル化実施、優位性を生かし拡販

(千台) 普通トラック登録台数



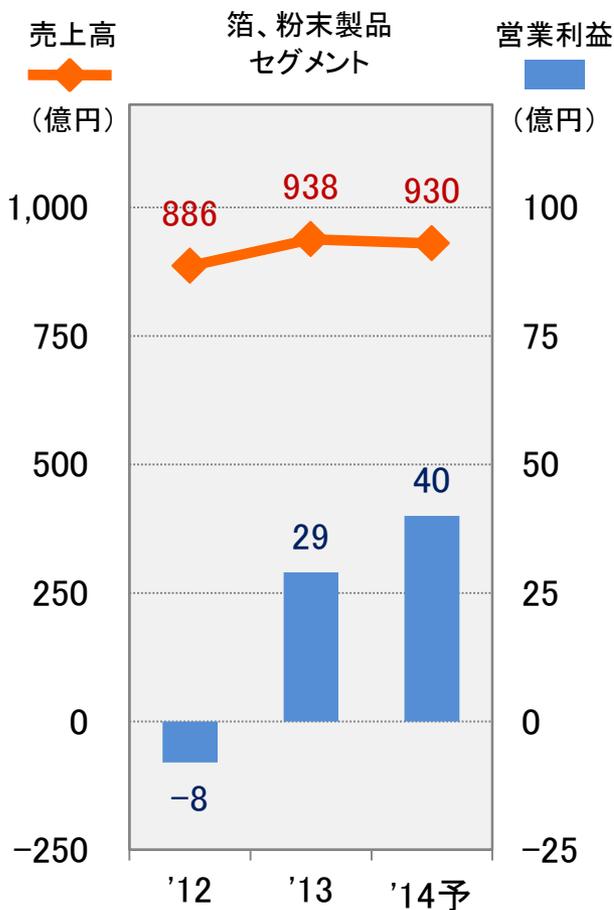
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(%) コンビニ店舗数 (前年同月比伸び率)



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

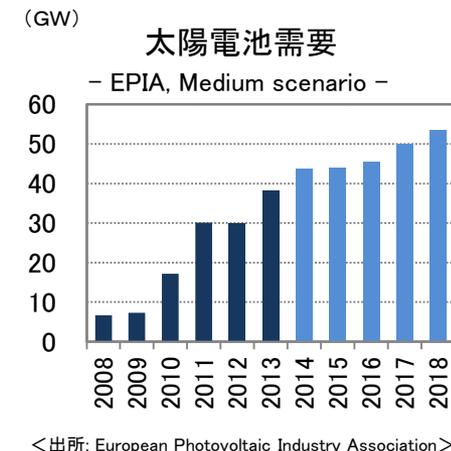
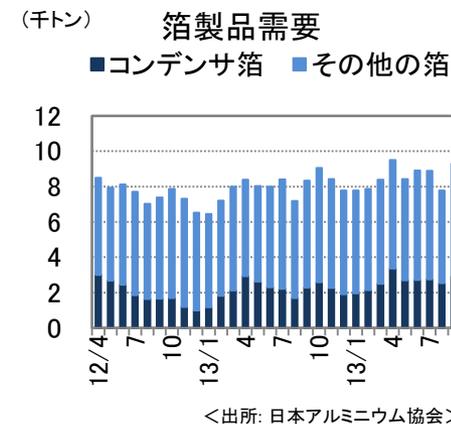
- 一般箔では、医薬品向け加工箔や撥水性加工箔が好調を維持
- コンデンサ箔の需要に回復傾向が見られる
- 14年10月より値上げを実施

<パウダー・ペースト事業>

- アメリカで自動車用ペーストなどの高付加価値品が好調
- 14年7月からの値上げを実施

<ソーラー事業>

- 製販の中国移管によるコストダウンと新製品の拡販で収益改善



主要会社の業績予想 – 前期比



(億円)

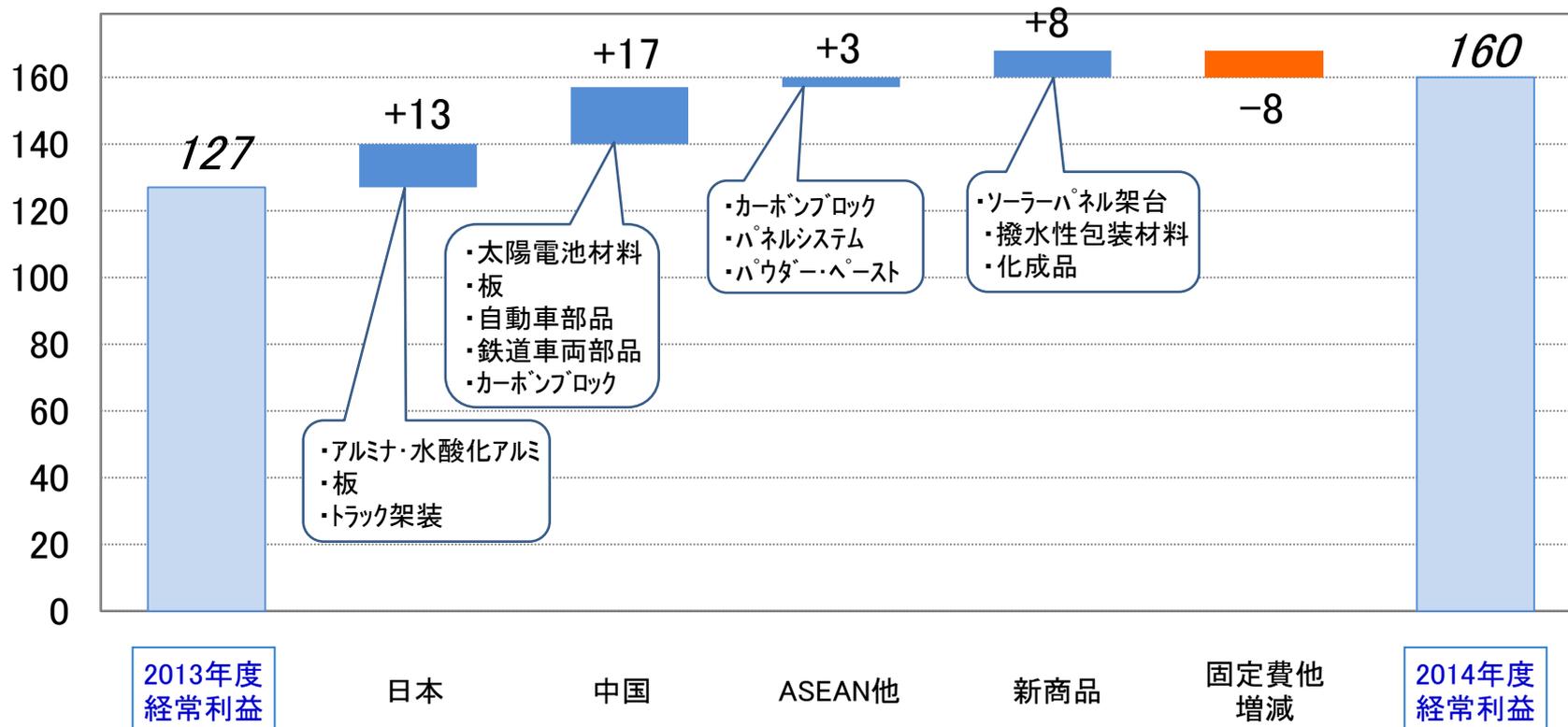
	2014年度 予想			2013年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,319	0	16	1,236	△36	△13
東洋アルミニウム (連結)	932	38	38	943	28	27
日軽エムシーアルミ (連結)	562	11	9	533	15	12
日本フルハーフ (連結)	569	28	27	533	25	25
日軽金アクト	390	20	22	350	15	16

経常利益変化要因 - 前年同期比



2013年度 +127億円 ⇒ 2014年度 +160億円 33億円増加

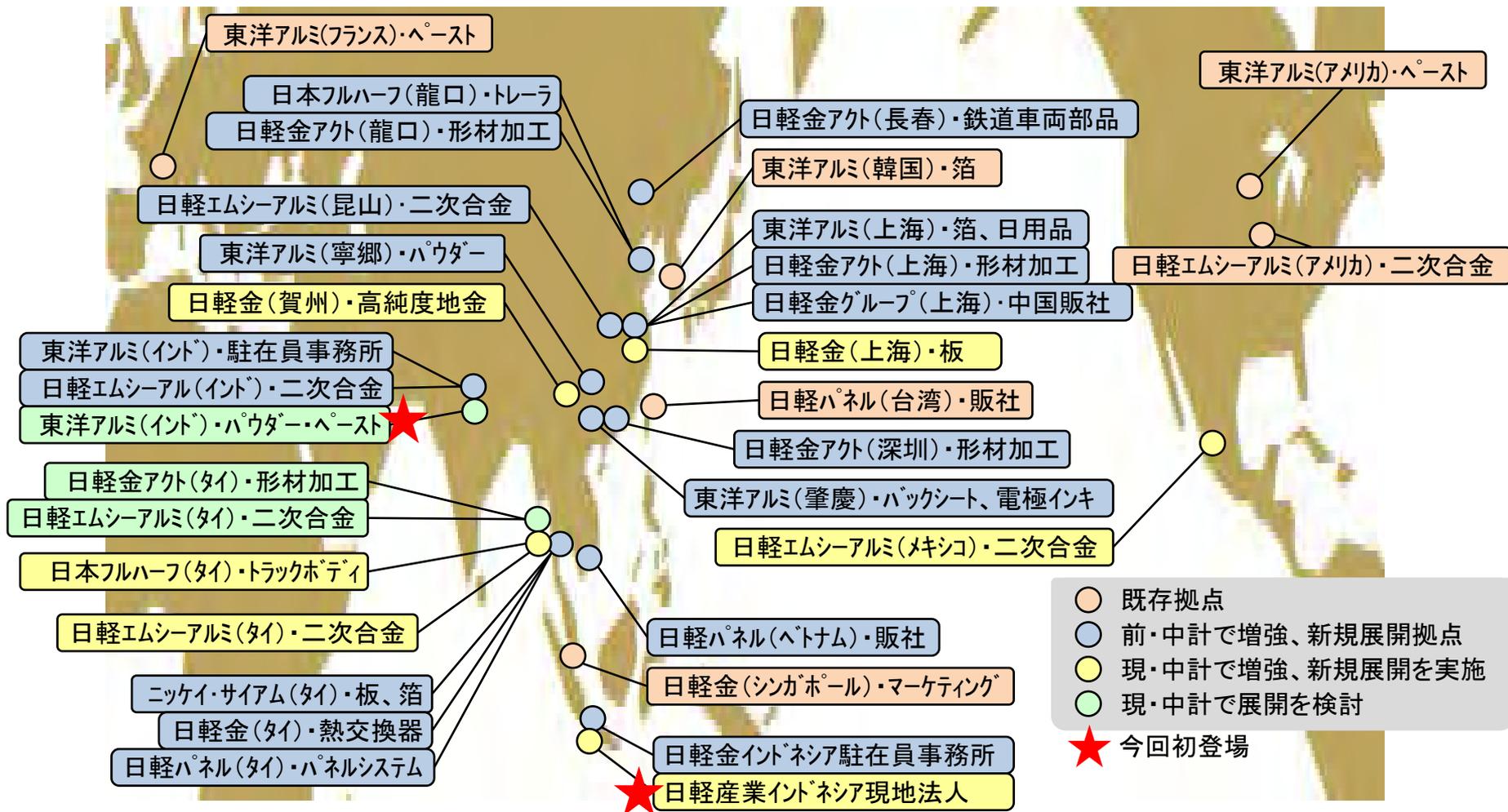
(億円)



目次

1. 2014年度 第2四半期決算
2. 2014年度 連結業績予想
- 3. 中期経営計画の進捗**
 - (1) 新規海外拠点の現状
 - (2) 環境・安全・エネルギー分野の製品

海外展開



長春日軽（日軽金アクト - 鉄道車両部品）



中期経営計画(2013年度-2015年度)の進捗 - 新規海外拠点の収益力強化

長春日軽(日軽金アクト)

長春日軽軌道客車装備有限公司
 設立: 2012年10月
 (日軽金アクト出資比率 50%)
 事業内容: 鉄道車両向け部品

経常利益(●:黒字、●:赤字)
 2012 実績 ● 2013 実績 ● 2014 予想 ● 2015 予想 ●

概況

- 13年は、中国鉄道部再編の影響による整備計画遅れ
⇒ 販売数量未達で赤字
- 14年以降は、地方都市向け車両の需要が増加
⇒ 地下鉄車両向け部品を受注済み

今後のアクション

- 生産能力向上、品質向上の為、接合スピードをアップ
- FSWの競合先に対抗する為、3次元接合・異種合金接合といった新技術を導入

2014年 5月 26日 アルミにこだわり、アルミを超えていく 25



深圳市地下鉄車両



FSW(摩擦攪拌接合)

現時点の見通し: 前回から変わらず

経常利益(●:黒字、●:赤字)



- 好調
- 既に、地下鉄4件、高速車両1件を受注済み
- 2015年から能力不足



長春日軽としては3台目となるFSW*1設備の増設を決定

⇒ 今後は、差別性のある新FSW技術を取り入れ受注拡大、利益率向上を図る

*1 FSW: Friction Stir Welding (摩擦攪拌溶接)

日軽丛林（日軽金アクト – 自動車部品）



中期経営計画(2013年度-2015年度)の進捗 – 新規海外拠点の収益力強化

山東日軽丛林汽車(日軽金アクト)

山東日軽丛林汽車 零部件有限公司

設立: 2012年3月
(日軽金アクト出資比率 55%)

事業内容: 自動車部品、トラック部品
丛林福祿好富向けトレーラ部材

経常利益(●:黒字、●:赤字)

2012 実績	2013 実績	2014 予想	2015 予想
------------	------------	------------	------------

概況

- 13年は、タイの自動車優遇策打ち切りにより上期は需要が急減。下期は、ABSなどが順調に数量を伸ばす

今後のアクション

- 14年はABS、ブラケットの本格化により、増販を見込む
- 素材供給元である丛林アルミと連携し、鋳造・押出の品質レベルを向上させ、コストダウンを実現する
- ABS、ブラケットに次いで、収益基盤となるアイテムを取り込む。(6000系・7000系バンパー等)


ABS


ブラケット


バンパー

2014年 5月 26日 アルミにこだわり、アルミを超えていく 26

現時点の見通し: 前回から変わらず

経常利益(●:黒字、●:赤字)



- 自動車部品では、ABS部品、ブラケットが好調
- トレーラ向け部材が計画未達だが、全体では、概ね計画どおり



トピックス

ブラケット生産の本格化に伴い加工ラインの増強を実施

今後は、丛林アルミの大型形材を使ったバンパー材などで受注拡大を図る



中期経営計画(2013年度-2015年度)の進捗 - 新規海外拠点の収益力強化

山東丛林福祿好富(日本フルハーフ)

山東丛林福祿好富汽車有限公司
 設立: 2011年11月
(日軽金グループ出資比率 50%)
 事業内容: トレーラ、トラックバンの製造

経常利益(●:黒字、●:赤字)
 2012 実績 ● 2013 実績 ● 2014 予想 ● 2015 予想 ●

概況・市場動向・展望

- 車両軽量化ニーズは高まっているものの、市場で受け入れられる価格になっていない
- 食の安全性、生鮮食品の需要増加
⇒ 温管車ニーズ
- 荷役作業の変化(労務費上昇、フォークリフト増加)
⇒ ウイング車増加

今後のアクション

- 販売人員増強、代理店数増加などにより販売量確保
- 次世代商品(軽量アルミトレーラ)開発

2014年 5月 26日 アルミにこだわり、アルミを超えていく 27

現時点の見通し: 前回から変わらず

経常利益(●:黒字、●:赤字)



- 積載量極大化という中国顧客のニーズが増加
⇒ 大手ネット販売企業の保有車を受注
- 2015年下期に経常利益黒字転換を見込む

トピックス

本年9月、国務院が物流業発展中長期計画(2014~2020)を決定
 ⇒ 標準化・バン式化・専門化した車両の積極推進による過積載輸送の撲滅へ



同社製品の優位性を発揮できる環境へ

ニッケイ・サイアム 熱交換器



中期経営計画(2013年度-2015年度)の進捗 - 新規海外拠点の収益力強化

サイアム・熱交(日本軽金属)

ニッケイ・サイアム - 熱交
 操業開始: 2011年10月
(日軽金グループ出資比率 100%)
 事業内容: ルームエアコン用コンデンサ

経常利益(●:黒字、●:赤字)

2012 実績	2013 実績	2014 予想	2015 予想
------------	------------	------------	------------

市場動向・展望

- ▶ 新興国においてルームエアコン市場が拡大
- ▶ 日系メーカーは100%海外生産(東南アジア、中国、インド)
- ▶ アルミ製熱交換器への代替の動きは継続
 軽量コンデンサのニーズ高まる
 銅とアルミの価格差
 省エネ規制、環境規制の強化

今後のアクション

- ▶ 高性能仕様で、省エネ規制強化時の対策
- ▶ 現地仕様によるシェア拡大

2014年 5月 26日 アルミにこだわり、アルミを超えていく 28

現時点の見通し: 下方に修正

経常利益(●:黒字、●:赤字)



- エアコン市場全体の伸び悩み
 - 東南アジア全体が冷夏
 - タイ: 政治的混乱
 - インドネシア: 通貨安、長期大雨
 - インド: 通貨安、省エネラベリング強化によるエアコン価格上昇
- 中東でのエアコンの施工遅れ
- 新冷媒(R32)インフラ整備の遅れによる新モデル発売延期

トピックス

当社熱交換器採用のエアコン機種数は順調に増加するも、エアコン市場でお客様の苦戦が続く

ニッケイ・サイアム パネルシステム



中期経営計画(2013年度-2015年度)の進捗 - 新規海外拠点の収益力強化

サイアム・パネルシステム(日軽パネル)

ニッケイ・サイアム - パネルシステム
 操業開始: 2012年7月
(日軽金グループ出資比率 100%)
 事業内容: 冷蔵庫・冷凍庫用断熱パネル
 クリーンルーム用内装パネル

経常利益(●:黒字、●:赤字)

2012 実績	2013 実績	2014 予想	2015 予想
------------	------------	------------	------------

市場動向・展望

- ◇タイ
 - コンビニ店舗数拡大傾向。食品関連も日系中心に増加
- ◇ベトナム
 - ショッピングモールや外資系コンビニの出店計画が急増

今後のアクション

- 販売力強化とローカルマーケットへの参入
- 新規商品投入... 外壁パネル、コンビニ用簡易パネル

2014年 5月 26日 アルミにこだわり、アルミを超えていく 29

現時点の見通し: 下方に修正

経常利益(●:黒字、●:赤字)



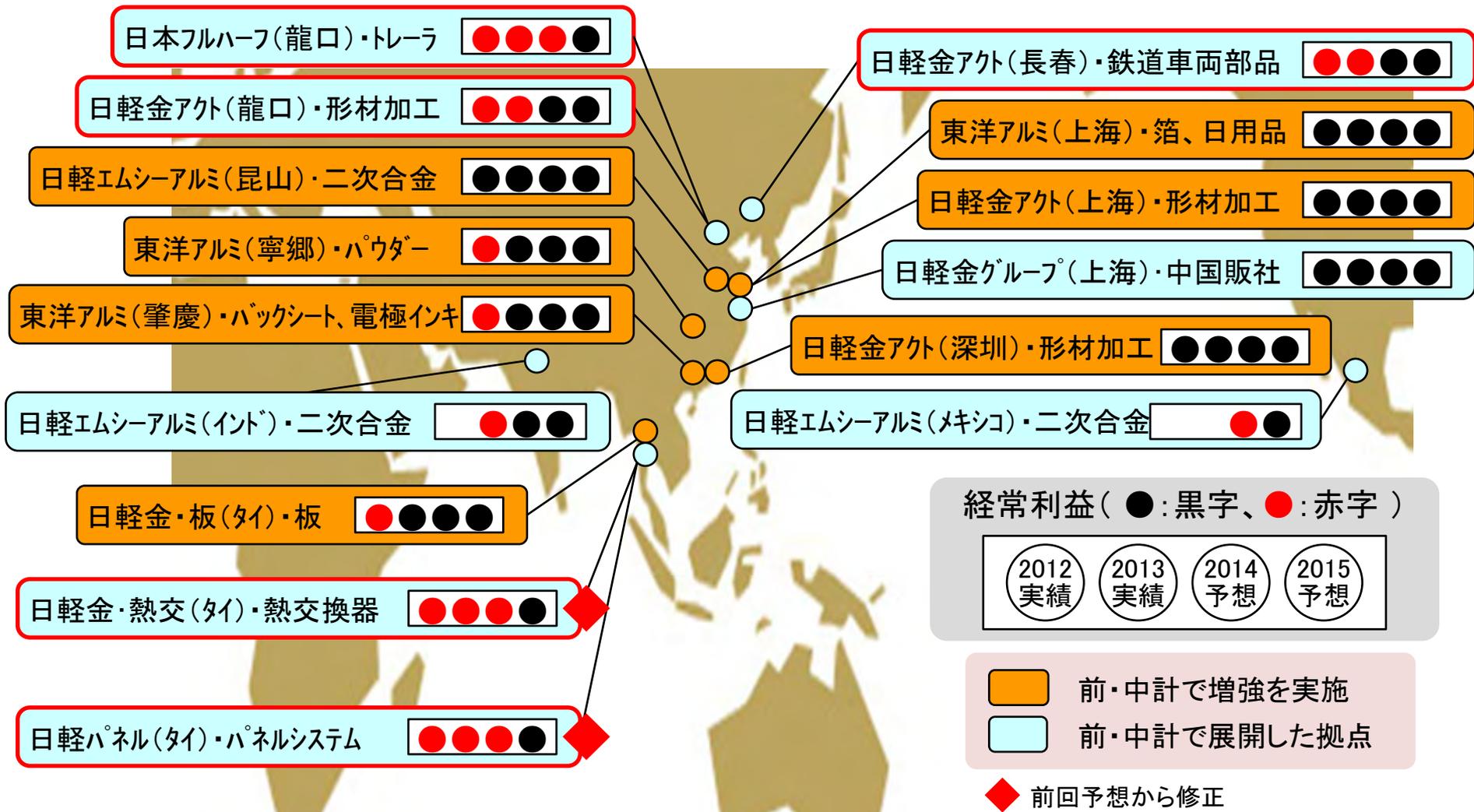
- タイ政情不安の影響
 - 需要減少、競争激化
 - 建築申請に対する認可の遅れ
 - ⇒得意とする大型物件が減少
 - ⇒上期業績が下振れ

- 足下では、大型物件(電機、薬品、食品)の引き合い、受注が増加
- 海外物件もコンビニ向けを中心に堅調に推移

トピックス

環境負荷が低い発泡剤に全面切り替え、
 ノンフロンパネルをいち早く市場投入
 10月から販売開始

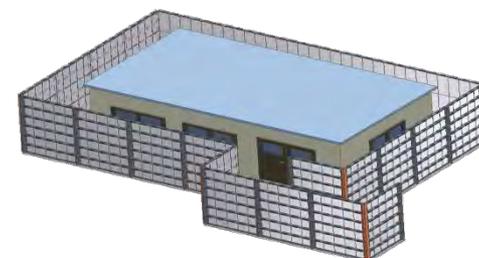
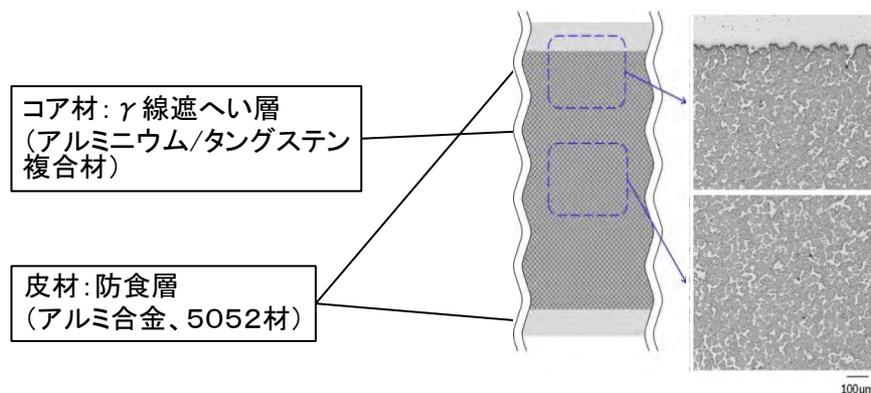
海外拠点の収益力



日本軽金属グループの 環境・安全・エネルギー分野の製品

- ◆ 安全・安心の意識が高まる中、
中期経営計画では成長分野の一つとして位置づけ

アルミ粉末とタングステン粉末の複合材による放射線遮へいパネル



除染工事への適用イメージ
(作業員休憩所遮へい)

アルミ50% タングステン50%(重量比)

- 鉛、鉄に比べ、屋外での長期耐食性に優れ、最小限のメンテナンスで繰り返し使用が可能
- アルミ粉との混合により加工性が向上 (タングステンのみでは硬すぎて加工しにくい)



現地実証試験(福島県)では遮へい効果を確認

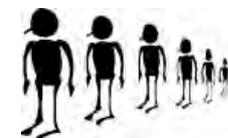
給水コンテナ <日軽金アクト>



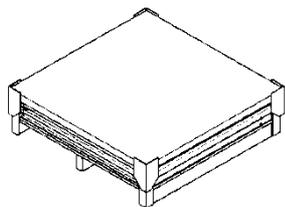
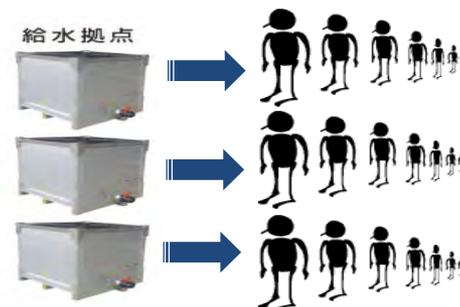
災害時の応急給水拠点



- 従来は、給水車から直接給水。給水中、給水車は他の場所へ移動できない



- 給水コンテナ導入: 複数の給水拠点を効率的に巡回できる



分解・折りたたみ時
(イメージ)



内袋
(食品衛生法準拠)

耐震ブレース <住軽日軽エンジニアリング>



アルミ合金製耐震ブレースのメリット

- 耐食性に優れる
- 施工性・作業性に優れ短工期を実現
- 軽量のため基礎の増設が不要で経済的
- リサイクル・リユースに適した材料

《すべての部材が人力により搬送、施工が可能》



波返し <住軽日軽エンジニアリング>



既設護岸の海側壁面に取付け、 越波を低減

(越波による道路、家屋への砂礫の飛翔を防ぐ)

■ アルミ製の優位点

- ・耐食性
- ・施工性(軽量性)



国道42号 和深波返し (和歌山県)



ノンフロンパネル <ニッケイ・サイアム>



環境負荷の低い発泡剤を使用したノンフロン・パネルを発売

- オゾン層破壊や地球温暖化への影響などを考慮
- タイでは2016年1月から特定フロンの使用に関する規制が始まる
- 製造工程で使用する発泡剤を、環境負荷が高い従来の「特定フロン」から、環境負荷が低い「シクロペンタン*1」へ全面切り替え
- 2014年10月より、ノンフロンパネルを販売

シクロペンタンを使用したの断熱パネル生産は
タイ国内では初の取り組み

(ニッケイ・サイアム調べ)

*1 <シクロペンタン>

オゾン破壊係数はゼロ、地球温暖化係数も従来の特定フロンの1.5%と極めて低く、高い環境性能を持つ発泡剤



断熱パネル施工事例



ニッケイ・サイアム パネル工場

傾斜地用アルソルメガ



傾斜地用アルソルメガ

- 超軽量ながら耐候性と強度に優れる
- 起伏の異なる傾斜地に簡単に設置可能
- アルミ合金製で軽量なので重機が入れない場所にも設置が容易
- ユニット工法で施工時間を短縮
- 平地用アルソルメガから2割コストダウン



⇒ ゴルフ場跡地、丘陵地、高速道路法面など

取り扱い

株式会社エヌ・エル・エム・エカル
株式会社住軽日軽エンジニアリング
日軽金アクト株式会社
日軽産業株式会社
日軽型材株式会社
理研軽金属工業株式会社
日本軽金属株式会社

アルミにこだわり、 アルミを超えていく



本資料についての注意事項

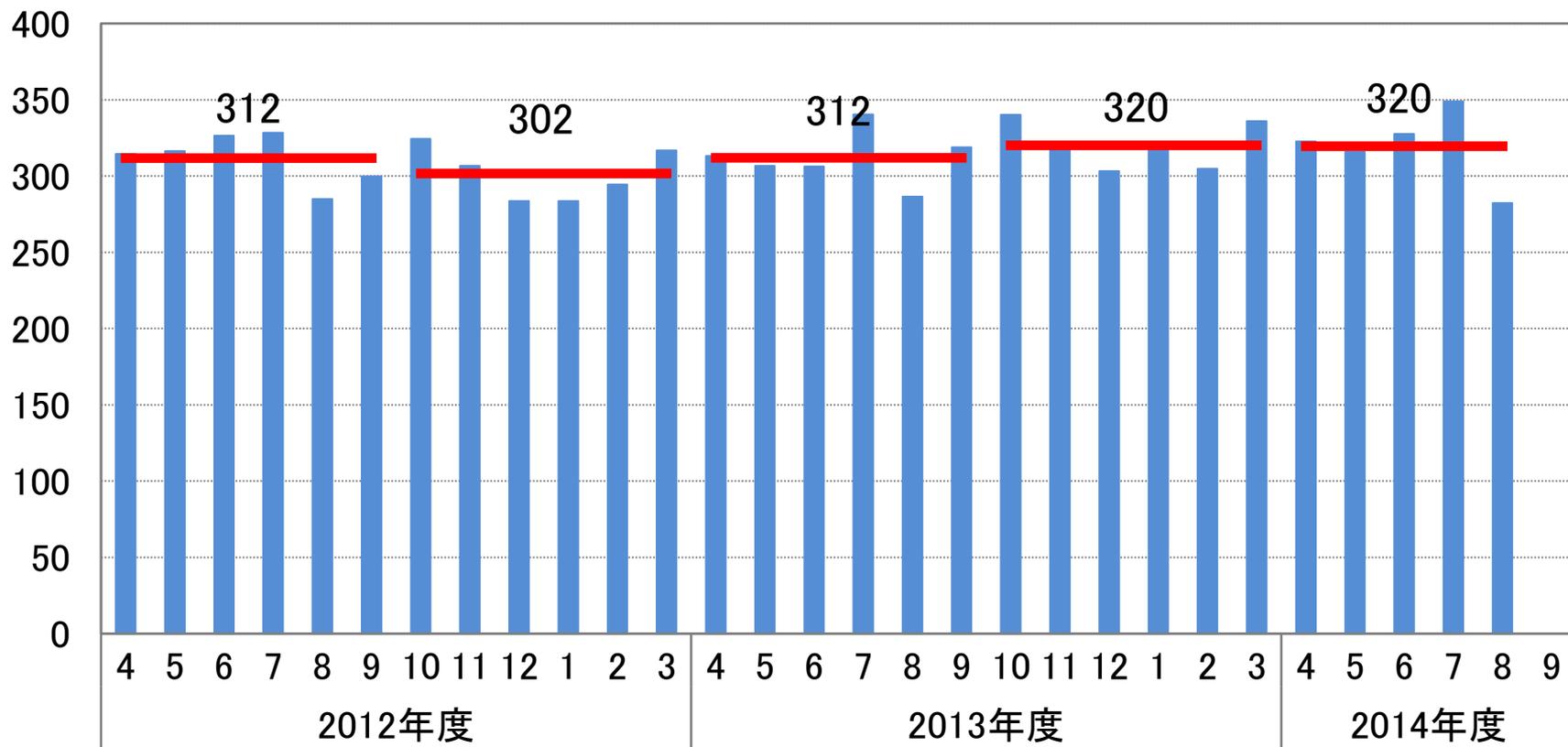
1. 本資料は2015年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移



(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

第2四半期決算 — 期初予想比



(億円)

	2014/4-9 実績	2014/4-9 期初予想	増減
売上高	2,028	2,000	+28 (+1.4%)
営業利益	80	65	+15 (+22.8%)
経常利益	82	55	+27 (+48.3%)
当期純利益	58	30	+28 (+92.3%)

経常利益



(億円)

	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	前年同期比	2014/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	82	41	+41	55	+27

(億円)

前期比 +41億円 の内訳

営業利益の増加	+29
持分法投資利益の増加	+4
その他	+8

(億円)

期初予想比 +27億円 の内訳

営業利益の増加	+15
持分法投資利益の増加	+5
その他	+7

当期利益



(億円)

	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	前年同期比	2014/4-9 期初予想	期初予想比
当期利益	58	17	+41	30	+28

(億円)

前期比 +41億円 の内訳	
経常利益の増加	+41
特別利益の増加	+14
特別損失の増加	△5
税金費用の増加	△7
少数株主損益の増加	△2

(億円)

期初予想比 +28億円 の内訳	
経常利益の増加	+27
特別利益の増加	+14
特別損失の増加	△5
税金費用の増加	△7
少数株主損益の増加	△1

セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014/4-9 実績	2014/4-9 期初予想	差異	2014/4-9 実績	2014/4-9 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	543	500	+43 (+8.6%)	32	20	+12 (+59.1%)
板、押出製品	382	370	+12 (+3.4%)	15	15	+0 (+1.6%)
加工製品、 関連事業	643	660	△17 (△2.5%)	31	25	+6 (+24.8%)
箔、粉末製品	460	470	△10 (△2.2%)	15	20	△5 (△26.6%)
管理・共通	—	—	—	△13	△15	+2
合 計	2,028	2,000	+28 (+1.4%)	80	65	+15 (+22.8%)

キャッシュ・フロー計算書



2014年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 83億円	固定資産の取得支出等 36億円
資金調達 44億円 長期借入金 44億円	約定弁済等 174億円
現金・同等物の減少 105億円	
	配当金支払い 22億円

(※1)
 税引前当期純利益 91
 減価償却費 80
 運転資金 △66
 法人税等 △22

2013年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※2) 53億円	固定資産の取得支出等 97億円
資金調達 137億円 長期借入金 126億円 短期借入金 11億円	約定弁済等 140億円
現金・同等物の減少 63億円	
	配当金支払い 16億円

(※2)
 税引前当期純利益 41
 減価償却費 81
 運転資金 △52
 法人税等 △17

設備投資・減価償却費 — 前年同期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	差異	2014/4-9 実績	2013/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	9	11	△2	22	21	+1
板、押出製品	22	23	△1	20	20	0
加工製品、関連事業	13	17	△4	17	17	0
箔、粉末製品	12	19	△7	21	23	△2
合計	56	70	△14	80	81	△1

通期業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2014年度 予想 (10/30)	2014年度 期初予想	増減
売上高	4,150	4,100	+50 (+1.2%)
営業利益	170	170	0 (0.0%)
経常利益	160	150	+10 (+6.7%)
当期純利益	110	100	+10 (+10.0%)
有利子負債	1,830	1,830	0
ネットD/Eレシオ	1.3倍	1.3倍	—
R O C E	6.4%	6.3%	+0.1p

セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年度 予想 (10/30)	2014年度 期初予想	増減	2014年度 予想 (10/30)	2014年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,100	1,030	+70 (+6.8%)	45	40	+5 (+12.5%)
板、押出製品	770	760	+10 (+1.3%)	35	40	△5 (△12.5%)
加工製品、 関連事業	1,350	1,350	0 (0.0%)	80	75	+5 (+6.7%)
箔、粉末製品	930	960	△30 (△3.1%)	40	45	△5 (△11.1%)
管理・共通	—	—	—	△30	△30	—
合 計	4,150	4,100	+50 (+1.2%)	170	170	0 (0.0%)

主要会社の業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2014年度 予想			2014年度 期初予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,319	0	16	1,234	△10	0
東洋アルミニウム (連結)	932	38	38	964	43	41
日軽エムシーアルミ (連結)	562	11	9	548	13	10
日本フルハーフ (連結)	569	28	27	540	27	27
日軽金アクト	390	20	22	393	20	22

設備投資・減価償却費 — 前期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2014年度 予想	2013年度 実績	差異	2014年度 予想	2013年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	42	31	+11	43	42	+1
板、押出製品	45	42	+3	38	40	△2
加工製品、関連事業	46	35	+11	35	34	+1
箔、粉末製品	30	32	△2	46	48	△2
合計	163	140	+23	162	164	△2

設備投資・減価償却費 — 期初予想比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2014年度 予想	2014年度 期初予想	差異	2014年度 予想	2014年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、地金	42	47	△5	43	43	0
板、押出製品	45	44	+1	38	35	+3
加工製品、関連事業	46	51	△5	35	35	0
箔、粉末製品	30	44	△14	46	50	△4
合計	163	186	△23	162	163	△1

持株会社体制のもとでグループ連携を強化し、
連結収益の最大化を図る。

<基本方針>

1. 地域別×分野別戦略による事業展開

⇒資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別。収益最大化を図る

2. 新商品・新ビジネスによる成長ドライバー創出

⇒顧客視点に立ったグループ連携による開発活動で高付加価値商品創出

3. 企業体質強化

⇒課題事業収益の早期回復とグループ人財の育成と有効活用

2015年度 数値目標



(億円)

	<2012年度>	<2015年度>
売上高	3,719	4,400
営業利益	82	250
経常利益	69	220
当期純利益	34	140
期末有利子負債	1,888	1,750
ネットD/Eレシオ	1.5倍	1.1倍
ROCE	3.7%	8.9%
海外売上高比率	16.8%	25.0%

<前提>
 アルミ地金: 230 円/Kg
 為替: 85 円/US\$